

＜令和6(2024)年度公募における主な変更点等＞

(1) 公募スケジュールの変更

- 令和6(2024)年度奨励研究について、以下のとおり公募スケジュールを変更しました。(「[I. 公募の内容](#)」「[8. 応募から交付までのスケジュール](#)」参照)

＜令和6(2024)年度奨励研究＞

研究種目名	公募開始	公募締切	審査結果通知	交付内定
奨励研究	令和5年7月14日	令和5年9月19日	令和6年2月下旬	令和6年4月上旬

- 表中の下線部は令和4(2022)年度に実施した公募からの変更点です。上記以外の研究種目の日程については、各公募要領等を確認してください。
- 公募開始時期とともに、公募締切時期の変更が行われていることに十分留意してください。

(2) 応募書類の引き戻し機能の実装について

- 本公募より、研究計画調書の提出(送信)期限より前であれば、日本学術振興会への提出(送信)後に研究計画調書(応募書類)の引き戻し、必要に応じた訂正、再提出を行うことが可能となりました。(「[II 応募する方へ](#)」「[7 作成・提出に当たっての留意事項](#)」参照)

(3) 研究計画調書の構成の変更について

- 本公募より、「研究費の応募・受入等の状況」欄を研究計画調書のPDFファイル上では表示せず、審査に当たっては電子申請システム上に表示した内容を確認することとしました。なお、本欄は研究計画調書の一部であるというこれまでの取扱いに変更はなく、研究計画調書(Web入力項目)上の入力方法も変更はありません。(別冊「令和6(2024)年度科学研究費助成事業-科研費-公募要領(奨励研究)(応募書類の様式・記入要領)」参照)

(4) 研究活動の国際性の確保について

- 研究者の国際的な研究活動を促す観点から、研究計画に関連した国際的な取組(国際共同研究の実施歴や海外機関での研究歴等)がある場合に、必要に応じて研究計画調書に記載できることを明確にしています。(別冊「令和6(2024)年度科学研究費助成事業-科研費-公募要領(奨励研究)(応募書類の様式・記入要領)」参照)

(5) 研究インテグリティについて

- 「研究インテグリティの確保に係る対応方針について」（令和3年4月27日統合イノベーション戦略推進会議決定）等を踏まえ、研究活動の透明性の確保のため、必要な対応を実施しています。

令和6(2024)年度公募においても引き続き、研究活動の透明性の確保に係る情報について、研究計画調書に記載することとしています。